

2022年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
2月1日	0		
2月2日	1		
2月3日	0		
2月4日	2		
2月5日	0		
2月6日	0		
2月7日	0		
2月8日	0		
2月9日	1		
2月10日	0		
2月11日	1		この程度の飛散でも敏感な方は、発症します。
2月12日	0		
2月13日	1		
2月14日	1		
2月15日	0		
2月16日	1		
2月17日	0		
2月18日	1		
2月19日	0		25日から気温が上がるため本格的な飛散開始が始まります。
2月20日	3		
2月21日	1		
2月22日	0		
2月23日	なし		強風のため測定不能
2月24日	1		
2月25日	0		
2月26日	1		最高気温が予測より上がらず飛散開始は少し遅れそうです。
2月27日	0		
2月28日	1		

2022年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個 / 14.4cm²で表示いたしますが（ひとつのスライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個 / cm³の表示になります。

2022年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
3月1日	1		
3月2日	1		本日から○個/cm ² 表示になります。
3月3日	0		
3月4日	0	0	
3月5日	6	6	飛散開始日 泉（加茂耳鼻科は3月2日）五橋（鈴木耳鼻科は3月1日）
3月6日	1	7	3月6日、7日は気温が下がるため一時的に飛散数が減ります。
3月7日	0	7	3月11日から気温が上がるため第1のピークになるでしょう。
3月8日	0	7	
3月9日	6	13	
3月10日	13	26	週末は気温が上がります。大量飛散に注意しましょう。
3月11日	47	73	金曜日は泉70個、五橋は81個でした。
3月12日	11	84	土曜日は気温が上がり風も強く、五橋は190個でした。
3月13日	18	102	
3月14日	13	115	未治療の患者さんは症状がかなり重症化しています。初期治療を行なっている方はまだかなり症状は落ち着いています。
3月15日	16	131	連日大量のスギ花粉が飛散しています。五橋261個、泉166個の大量飛散です。
3月16日	30	161	五橋194個、泉290個の大量飛散です。大学の屋上の飛散数は少なめですが仙台市内では日常生活に大きく支障を及ぼす大量飛散が続いています。
3月17日	測定なし	測定なし	昨夜の地震で山のスギの木から花粉がふるい落とされ今年最大の飛散となるでしょう。まだ全体の1/3～1/4しか飛散していないでしょう。
3月18日	3	167	
3月19日	22	189	
3月20日	11	200	週末は、気温が低く飛散が少なめです。
3月21日	2	202	
3月22日	1	203	みぞれ混じりの悪天候により飛散は少なくなりそうです。五橋は累積1500個を超えました。
3月23日	2	205	
3月24日	22	227	泉と五橋は共に1500個を超えました。22日のみぞれの影響で飛散は抑えられています。今後は気温の上昇と共に増え、あと4～5回はピークが続くでしょう。
3月25日	29	256	
3月26日	40	296	
3月27日	26	322	27日、28日が今年最大のピークになりました。やはり今年は飛散が例年より2～3週ほど遅れています。飛散数としてはまだ1/2程度でしょう。
3月28日	未測定		五橋と泉では27日と28日の二日間で1000個以上の大量飛散になりました。特に眼の症状が重症化するでしょう。
3月29日	未測定		3/27の分までしか大学のデータが届いておりません。大学の測定数が極端に少ないのですが、市中では大量に飛散しております。
3月30日	未測定		初期治療を行っていない新患の方は、かなり症状が重症化しています。最重症例にはゾレアが有効です。眼症状の緩和にはウエルウオッシュアイが効果的です。
3月31日	未測定		五橋では総飛散数が3500個を超えました。4月下旬までスギ花粉の飛散は続く見込みです。

2022年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個/14.4cm²で表示いたしますが（ひとつのスライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個/cm²の表示になります。